

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校

会長名 豊島大輔

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部：① P T A新聞の発行②三校合同講演会③ P T Aのつどい参加

生活指導部：①愛の一声運動②「かけこみ110番の家」との連携③生活安全標語の募集と立て看板の設置④全体夏休み巡回パトロール
⑤特別パトロール⑥校区内パトロール⑦不審者出没に伴うパトロール⑧学区内危険な立て看板撤去

環境整備部：①古紙回収②夏休み奉仕作業③校内美化活動④古紙ボックス常時設置

体育保健部：① P T Aスポーツ②三校合同球技大会③運動会における安全管理の徹底・ P T A協議の円滑な実施

家庭教育部：①ベルマーク運動②給食試食会③親子学習会④会報「あすなろ」発行⑤市 P 連母親委員会参加

取り組みの効果

1. ⑥
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

生活指導部：一年を通して P T A活動を実施することができた。

環境整備部：夏休みの奉仕作業については約 500 名、校内美化活動については約 280 名の参加があり、子どもたちとともに爽やかな汗をかきながら活動することができた。古紙回収、古紙ボックスについては多くの収益を得ることができ、学校設備改善や学習環境の整備に取り組むことができた。どれも子どもと共に活動できる貴重な時間となり、子どもを通して知り合えた部員同士のつながりも貴重なものとなった。

体育保健部： P T Aスポーツにおいて、参加者が決まったメンバーになりがちであったのが、広く参加を呼び掛けたところ新たな参加者も得て、 P T Aの一体感が高まった。また、三校合同球技大会では、幹事校で大変であったが、多くの参加者の協力もあり大成功に終わった。運動会においては、校内、学校周辺の巡回を強化したところ、近隣店舗への無断駐車等の事態は発生しなかった。 P T A競技も保護者と教職員が一体となって参加し、児童も応援で盛り上がった。

家庭教育部：校内美化活動にベルマーク活動を組み込んだことでベルマークの活動を知っていただき、いろいろなご提案をいただけるようになった。

－反省点－

生活指導部：数十年前から校区に設置してある生活安全標語の危険な立て看板を全て撤去できていない。いつ、誰が、どこに設置したのかが不明であり、今後、まちづくりセンター職員と協力して全ての撤去を行う。

環境整備部：校内美化活動の参加者を増やすように取り組みたい。評議員との連絡をメールのみで行っているため、実際に顔を合わすのが 4 月評議員会のみになっている。そのため、評議員の顔を知ることができず、環境整備部の活動への意見交換もできていない。

体育保健部： P T Aスポーツは練習に子連れの参加者が増えたが、安全面の確保に課題がある。運動会の P T A種目については、事前の告知方法、募集方法、人数調整に工夫の余地があった。

家庭教育部：評議員の方で参加がとても少ない方がいる。

－改善案－

環境整備部：校内美化活動への参加者数を増やすように取り組みたい。また、古紙ボックスの積極的な活用を呼び掛けたい。そのためにも 9 月下旬か 10 月初旬に評議員会を持ちたい。

体育保健部： P T Aスポーツについて、子連れ参加の場合のルールを検討する。運動会については、競技の選定、募集方法等につき、校内部長をはじめ学校と事前に綿密な協議をする。

家庭教育部：様々なライフスタイルの方が工夫しながら協力していただけるように、ベルマーク作業の方法を学校と家庭に分けることで活動を活発化させたい。

平成28年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校

会長名 山田 彩子

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部…三校合同事業への協力

年間3回の新聞「いずみ」の発行

生活指導部…交通指導・あいさつ運動「ふれあいの日」を実施

運動会への協力

「かけこみ110番」宅の確認と看板取り替え、地図の修正

家庭教育部…1年生給食参観および給食試食会

持久走大会への協力、3校合同事業への協力

卒業生に送るコサージュの準備

親子みそづくり教室

環境整備部…年間2回の親子奉仕作業および古紙アルミ缶回収

体育保健部…運動会への協力

親子レクリエーション「親子で今小ナイトウォーク」の実施

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・奉仕作業では、親子で共に一生懸命活動し、校庭や窓ガラスなどが見違えるほどきれいになった。1回目が550名、2回目が496名の参加であった。
- ・「親子で今小ナイトウォーク」では、多くの役員が準備や運営に関わることができた。参加者も568名と年々増えて、大変好評である。教師と役員の工夫を凝らした楽しい演出に、子どもも保護者も喜んでいて。
- ・「親子みそづくり教室」は初めての試みであった。参加者は111名。大人も子どもも「深澤秀王商店」のご主人の話を真剣に聞いて、みそづくりに挑戦した。親子で共に作る姿はほほえましいものがあった。
- ・どの活動においても安全面に対する細心の配慮をしたため、事故なく活動できた。
- ・PTA新聞を年間3回発行した。子どもの生き生きした姿や親子での仲睦まじい姿がたくさん写真で伝えられた。本校のPTA活動のよさを各家庭や地域に発信することができた。

—反省点—

- ・同じ時期に行事が集中し、役員負担が大きくなる場合があった。

—改善案—

- ・中学校区の3校、まちづくりセンターと連携をとり、時期や内容の計画をする。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校 会長名 橋本 仁

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA 活動目標テーマ「やろう！すべては子どもたちのために」

- ・PTA 活動目標テーマをもとに、各部ごとにテーマを立て、目的・目標をしっかりとって活動を行なった。
- ・活動計画をもとに、各事業に向けて、各部会や総務会等で計画の検討や準備を十分行い、充実した活動になるよう取り組んだ。

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・各部ごとの活動では、テーマをもとに『何のためにやるのか。』それにより『どんな成果があるのか。』を意識して活動していただき、各活動が大変充実したものになった。
- ・通常は各部ごとの活動が主体ではあるが、他の部との連携やサポートを積極的に行なった結果、自分が所属している部以外の活動にも、積極的に参加する総務会役員が増えた。

—反省点—

- ・一般のPTA活動（奉仕作業等）には、協力的な保護者が多いが、総務会役員となると、一歩引いてしまう方が多い。
総務会役員へも応募してもらえるように、声掛けや総務会役員の活動についても広報・周知活動をもう少し頑張りたい。
- ・子どもたちのために充実した活動にしていくためにも、今後も効果的な役員募集・選出方法等を検討するとともに、確実な引継ぎを行なっていきたい。

—改善案—

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校 会長名 高林 信作

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

P T A活動

リサイクル活動・親子奉仕活動・親子ふれあいスポーツ大会・P T A新聞
安全パトロール・給食試食会・プール監視・運動会

神戸地区各種団体行事

三世代交流グランドゴルフ大会・カップスタッキング大会・夏祭り
体育祭・文化祭・防犯パトロール

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

子どもを中心に、先生方、保護者同士の関係が、より密になったと思う。
家庭・学校が・地域が関わることにより、地域全体の活性化につながったと思う。

—反省点—

各行事（とくにP T A活動）に、もっと多くの方に参加してもらいたい。

—改善案—

広報の仕方や活動内容の案内など工夫していきたい。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校 会長名 鈴木 英正

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 新聞「松籟」の発行
- ・ 元吉原小中学校合同レクリエーション大会開催
- ・ PTA 奉仕作業
- ・ 地域の危険個所の点検並びに見回りパトロール
- ・ 給食試食会の開催

取り組みの効果

1. ④
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ PTA 新聞の発行により、PTA の具体的な活動内容などを保護者の方に知っていただくことができた。
- ・ 合同レクリエーションにより、保護者と教師のみならず中学校の保護者及び教師との良好な関係が築けた。
- ・ 奉仕作業により、普段子どもだけで行き届かない個所を清掃することができた。
- ・ 地域の標語看板と足型プレートの補修及び見回りパトロールにより子どもたちの通学路における安全確保ができた。
- ・ 給食試食会と同時に行われた食育講座が大変参考になったと多くの保護者の方から好評であった。

—反省点—

特になし

—改善案—

特になし

平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 鈴木 進

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A活動の様々な場面で、準備や片付けを、担当の部だけでなくすべての役員部員がみんな協力して行い、達成感のある活動ができた。
- ・ 環境整備活動での、古紙回収・アルミ缶回収の時間を短縮して効率よく行えるようにした。

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・ 体育祭の片付け、環境整備活動の準備片付け等、役員部員が担当の係にとらわれず、みんな協力して行い、どの P T A活動も気持ちよく行われた。
- ・ 環境整備活動での回収時間をあらかじめ、古紙回収は30分、アルミ缶回収の時間は15分としてお知らせしておき、短い時間で効率よく回収することができた。

ー反省点ー

- ・ 環境整備活動では、みなさんよく働いてくださっているものの世帯数の減少により作業が多く大変な面がある。

ー改善案ー

- ・ 地域の方々が学校にたいへん協力的である。9月の終わりに行われる体育祭は地区との合同開催なので、夏休み明けの環境整備活動は、地域に広く呼びかけをして、地域の方々と協力して行っていくこととした。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校

会長名 吉村 直也

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・それぞれの部の取り組みについて、会員に対して広報活動を重点的に行い、参加者の増加を図った。
- ・前年度の活動を踏襲し、活動がマンネリ化してきている様子が伺えたことから、来年度へ向けて、各部の活動内容の検討を行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・各活動の参加人数を締め切り前に事前に把握し、少ない時には本部役員から個人的に参加者を募るなどの活動を行ったことで、実施mに十分な参加人数を得られた活動が多かった。
- ・各部で行うそれぞれの活動の意義を本部で十分に検討したことで、目的意識を持った活動を計画することができた。

—反省点—

- ・文書で参加者を募るだけでは、参加者が集まらない活動もあることを真摯に受け止める必要がある。
- ・部長一人にかかる負担が大きく、役割分担や活動内容の精選が必要である。

—改善案—

- ・部長と副部長で、事前に活動内容や役割分担を十分に検討したうえで、部会を開催する。
- ・会員にとって、「参加してみたい」「やってみたい」と思われるような、魅力ある活動を企画する。場合によっては、総会で提案した内容とは変更するなど、臨機応変な活動計画を立案する。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 伊東 巧

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- A. 穆清新聞発行・壁新聞作成
- B. 応急救護講習会・親子ふれあいレクリエーション
- C. 古紙回収・環境整備作業
- D. 交通安全旗振り・児童交通安全標語選考、掲示
- E. 本の読み聞かせ・給食試食会

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- A. P T Aの取り組みを知ってもらうことができた。
取材班と壁新聞作成班に分け、仕事の分担を図ることができた。
- B. 応急救護講習会は、非常にためになった。
参加者が積極的に質問をし、有意義な時間になった。
親子ふれあいレクリエーションは、親子でふれあうことができよかった。
- C. 古紙回収・環境整備作業
環境整備作業では、前もって役割分担を決めてあったので、スムーズに作業ができ、早く終わることができた。
古紙回収で得た収益金で、子供たちのために必要なものを購入することができた。
- D. 児童交通安全標語を募集し、優秀賞を選考した。ほとんどの児童が参加し、交通安全について考えてもらう機会となった。
- E. 絵本の読み聞かせ・給食試食会
朝の時間の読み聞かせは、毎回子供たちに喜んでもらうことができた。
大型絵本を取り入れ、楽しんでもらうことができた。
給食試食会は、講演がわかりやすく、富士市の学校給食のすばらしさや朝食の大切さを見直す機会となった。

—反省点—

- A. 壁新聞作成に時間がかかった。穆清新聞作成では、パソコンが使える人が必要だった。
- B. 応急救護講習会は、児童にも見学してもらう場としていきたい。
- C. 環境整備作業では、参加人数を増やす工夫をしたい。
- D. 6年生が行った交通安全を語る会は良いものだったので、参加者を増やす工夫をしたい。
- E. 絵本の読み聞かせができる人を増やしていきたい。

—改善案—

広く声掛けをし、参加人数を増やしていく工夫をする。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校 会長名 吉田 知子

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年3回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年3回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（親子奉仕作業）
- ④P T A誌「大樹54号」の作成
- ⑤運動会およびマラソン大会への協力
- ⑥交通安全教室（1年生・4年生）への協力・補助
- ⑦家族ぐるみ読書の推奨・年2回のP T A読み語りを実施
- ⑧自由プールの監視補助

取り組みの効果

- ①. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ①地域や保護者の方々が、登校の様子を見守り、あいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築できたので、効果的だった。
- ②3回の活動で得られた収益金を、児童のために有効に活用することができた。
- ③普段は手が回らない清掃（木の剪定なども含む）を行うことができたので、学校全体をきれいにすることができた。
- ④P T A誌「大樹」は、本校の伝統的な冊子となっているので、心待ちにしている家庭が多い。
- ⑤運動会の用具準備やテント設営、マラソン大会のコース監視など、教職員だけでは手が足りない部分を補っていただけた。来年度も協力を仰ぎたい。
- ⑥教職員だけでは手が足りない部分を補っていただいただけではなく、保護者と児童の交通安全に対する意識を高めることができた。
- ⑦事後アンケートには、「親子で心温まる時間を過ごすことができた。」「子どもが小さい頃に読んであげた本を、また改めて読み聞かせていく中で、子どもの成長を感じた。」等の好意的な意見が多かった。
- ⑧教職員だけでなく保護者の方々が協力してくださったため、安全管理面で目が行き届いた。

－反省点－

- ③P T A親子クリーン作戦の際、蜂による負傷者が出てしまった。

－改善案－

- ③危険な場所に立ち入らないことに対する呼び掛けを行ったり、事前に巣の有無を確認したりするなど、安全管理を徹底して行う。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校 会長名 保科 朗子

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 学校美化活動の実践（9月：校庭等外回りの美化作業、校舎内の美化活動(トイレ等)
 - 参加者を多くするため、回数を2回から1回にして、活動内容を精選。
- P T A家庭教育講座（スマホ講座）の開催
 - 子どものスマホやゲームなどでのインターネット利用が増加している現状から、安全に利用するための保護者向けの講座の開催を計画した。

取り組みの効果

1. (有)
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- －具体的な効果－

学校美化活動

○活動内容を精選することで、短い時間で効率よく作業をすることができた。残暑の厳しい時期でもあり、参加者の負担を軽減することができた。

P T A家庭教育講座（スマホ講座）

○N P O法人「e - L u n c h」から講師を招いて、専門知識のある方から、本校児童のインターネット利用のアンケート結果をもとに、具体的にどのような危険性が予想されるか話をしていただいた。この講座を通して、子どものインターネット利用について関心を高めることができた。

－反省点－

学校美化活動

○学校美化活動を昨年度の2回から1回に減らしたが、2回から1回になっても、参加者を大きく増やすことはできなかった。そのため、活動場所が人数の関係で限られてしまった。

P T A家庭教育講座（スマホ講座）

○スマホ講座は、授業参観の高学年と低学年の間に実施したが、参加者が60名程度にとどまり、多くの保護者に啓発するまでには至らなかった。

－改善案－

学校美化活動

○学校の環境の整備が、子どもの学校生活での安全を担保し、より学校での教育活動が充実することを、機会をとらえて具体的に知らせる。

P T A家庭教育講座（スマホ講座）

○子どものインターネット利用の現状を、アンケートをとって結果を知らせ、その危険性について気づけるようにする。さらに、講演の内容をP T Aだより等を使って知らせ、より多くの人に関心を持ってもらえるようにする。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 大淵第一小学校

会長名 鈴木 重臣

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年2回) … P T A活動を取材し、写真と記事を掲載
- ・ 3校合同 P T A教育講演会の実施(大淵中、大淵二小との合同講演会)

【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A総会時に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行った。
- ・ 地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。呼び掛けののぼり旗設置

【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回)、奉仕作業(年2回)

【体育保健部】

- ・ ふれあいスポーツ大会 … 保護者同士や教職員とのふれあいを目的に『ビーチバレーボール大会』を開催

【母親委員会】

- ・ 新茶を楽しむ会 … 大淵地区で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に児童がたしなむ。
- ・ 給食試食会 … 保護者を対象に、学校給食の様子を体験する。
- ・ コサージュ準備…卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。また、教育講演会では、3校が共通の話題で交流することができた。

【生活指導部】

- ・ P T A総会時に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収では、会員の家庭だけでなく地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができたため、P T A活動費に充てることができた。奉仕作業2回目は、校舎内の清掃を重点的に行い、とてもきれいになり、子どもたちの生活環境が改善された。

【体育保健部】

- ・ P T A会員と教職員の多数の参加があり、ふれあいを深めることができた。

【母親委員会】

- ・ 地域で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に子どもたちに提供した。正しいお茶の入れ方の手本を示しながら飲んでもらうことで、地域特産のお茶について理解を深めることができた。給食試食会では、子どもたちの配膳や食事の様子を見学したり、給食の意義を栄養士から聞いていただいたりしたことで、保護者の学校給食への理解を深めることができた。

—反省点—

○昨年度より引き続き、ふれあいスポーツ大会の参加者を保護者と教職員にし、種目をビーチバレーボールに変えたため、盛り上がった。

▽教育講演会や奉仕作業には多くの保護者が参加したが、会員数に比べるともっと多くの方が参加できると考えられる。より多くの保護者が参加できる方法を考えたい。

—改善案—

◇教育講演会の開催日程を早めに連絡すること。また、保護者が聞くだけでなく、子どもと一緒に参加したり、活動したりするなど内容を工夫したい。

◇本年度お寄り高学年の子が参加することで、多くの保護者の参加が必要であることをアピールできた。引き続き行っていくことでより広く奉仕作業の存在を意識させたい。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 望月 基秀

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ◇環境整備部 P T A奉仕作業（5月・9月）・リサイクル活動（6月・10月・1月）
- ◇生活指導部 通学路の確認 危険箇所マップの作成 かけこみ110番の家の確認
- ◇体育保健部 ふれあいレクリエーション大会（親睦ドッジボール大会）
- ◇成人教育部 P T A研修会 P T A新聞「こぶし」の発行
- ◇家庭教育委員会 給食試食会 持久走記録会終了後の児童に温かいココアの提供
市P T Aつどい新聞作成
- ◇三校合同 三校連絡会 三校合同講演会
- ◇その他 防災講座及びサバイバル飯作り体験（7月）

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- どのイベントにも、皆さん積極的に参加していただけたと思います。

本年度、初めての試みとして、三役が主体の防災講座及びサバイバル飯作り体験を実施しました。4月の熊本地震を教訓に、災害から身を守るためには、まず、自分の住む町の災害の地域性を知り、具体的に災害のイメージを持つことが重要と考え、富士市防災危機管理課から講師を招き、防災講座を行いました。講座では、過去の地震発生時の映像を見たり、富士山が噴火したときのシュミレーションをしたり、とても具体的に災害について学ぶことができました。講座後は、グラウンドに出て、アルミ缶を使ったサバイバル飯を、児童と保護者とで体験をし、試食。後日、アンケートを実施したところ好評で、また行いたいという回答が9割でした。いつ発生するかわからない災害に向けて、防災知識を高め、今後の生活に役立てたいという意見が多かったです。継続的に行えればよいと思いました。

—反省点—

- 特にありません。

—改善案—

- 特にありません。

小規模学校で、保護者・児童とも少ないため、今後の各部の活動は減少していくと思われま。評議会で、行事を厳選し、意義のある楽しいP T A活動となることを期待し、願うところです。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第一小学校 会長名 植松 倫樹

平成28年度重点活動の具体的取り組み内容

- ・親子と教師のつどい「みんなでいっしょ 防災!!!」
- ・校内クリーン作戦
- ・資源回収（年／10回）
- ・地域かじま祭り

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを－反省点－に記入）

－具体的な効果－

・資源回収では、より多くの皆さんが参加できるように今年度は土曜日・学校行事および P T A理事会・各専門部会の日程に合わせ10回の資源回収を行い収入増となった。

－反省点－

－改善案－

- ・各専門部の事業活動が多いことから全体事業を見直し各自の負担を軽減させる。
- ・昨日同様、地域などの行事を考えて、子どもたちが参加しやすい効果的な計画を立て活動をして行きたい。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校 会長名 山口和男

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① PTA 全世帯交代参加の旗振り活動
- ② 地区保護者と通学路における危険個所見直しと改善
- ③ PTA 新聞「けやきひろば」を年3回発行、「けやきブログ」を常時更新
- ④ 資源回収を年3回開催
- ⑤ 学校行事や地区行事への参加（体育祭、祭り、文化祭など）
- ⑥ 食育推進活動（給食試食会、文化講座でエコクッキング、三校合同行事幹事校）
- ⑦ 父親委員主催行事（運動会プログラム「綱引き」、通学路ウォークラリー行事のカレーライス作り）

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果 —

- ① 有 通学時の安全確保
- ② 有 通学路の変更実施。現在の通学路になっている信号のない横断歩道の使用をやめ、信号のある横断歩道へ通学路のルートを変更。グリーンベルトも新たに設置。
- ③ 有 PTA 活動の周知により PTA イベントの参加率アップ
- ④ 有 収益による教育環境の整備
- ⑤ 有 PTA、学校、地域の連携により、町全体の活性化
- ⑥ 有 親子参加型の食育活動
- ⑦ 有 父親の積極的な行事参加による学校教育や環境への関心を向上

— 反省点 —

通学路における危険個所の随時確認、道路維持課や警察署へは改善要望書提出済だが対応のない現状における仮対策

— 改善案 —

通学路の安全対策は継続して行政へ要望を出すとともに、区長様はじめ地域の方々とのさらなるコミュニケーションを図る。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦小学校 会長名 柿並 光江

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 10月16日(日)『小中P T A合同演奏会』実施。
今年度は小学校担当。今回も講演会ではなく、演奏会として、本校4年生の合唱と田子浦中学校吹奏楽部の演奏を披露した。参加者全員が吹奏楽部の伴奏に合わせて、「さんぽ」「ひまわりの約束」を合唱した。
- 2 11月 5日(土)『田子浦っ子祭り』実施
P T A役員並びに先生方、田子浦中生、地域の各種団体の方々にご協力いただき、バザーやフリーマーケット、福祉体験、出店など様々な催しが行われた。本校の特別支援学級2クラスも栽培して収穫したトウモロコシを使って作ったポップコーンの店を出店した。

取り組みの効果

1. 有
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

- 1 地域の行事と重なったにもかかわらず、200名程度の参加者を集めた。4年生や吹奏楽部の保護者だけではなく、地域の年配の方々にも喜んでいただけた。
- 2 前日までの準備、当日の会場設営がとても大変だったが、P T Aの役員を中心に各部の部員や中学生ボランティアの協力により盛大に開催できた。休日にもかかわらず多くの先生方も参加し、スナッグゴルフの店を出店した。全校児童の半数を超える子どもたちが参加しただけでなく、小さい子からお年寄りまでたくさんの方に楽しんでもらうことができた。

—反省点—

- 1 時期と内容が難しい。音楽会形式は2年続いたので、次回は講演会でも集客できる工夫が必要となる。
- 2 今年度は前日が指導課訪問だったため、準備が速やかに進められなかった。日程的に非常に忙しい時期と重なってしまった。

—改善案—

- 1 参加型の講演会にする。講演会に固執せず、ワークショップなどを取り入れる。
- 2 来年度は11月上旬から中旬に時期を変更する。学校だけではなく、地域の行事も視野に入れなくてはならないので、早めに予定を組む。訪問の日程が迫らないように配慮する。地域との連携を図り、多くの参加者を募る。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松小学校 会長名 植田 和春

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T Aの活動を知ってもらうために、会報を年3回発行し、P T A活動の記事をなるべく多く載せた。岩松地区の五団体合同教育講演会への協力、来年度の五団体合同教育講演会の講師決めを行った。【成人教育部】
- ・ 学区住民あての古紙回収のお願いのプリントの配付時期について、各地区の部員に調整をお願いして回収量を増やすよう努めた。【環境整備部】
- ・ スポーツ親睦会(ドッジビー)の開催をし、体育指導員のアトム先生をお迎えして親子でできる運動教室を行った。【体育保健部】
- ・ 毎月1回あいさつ運動を行ったり、地域が育てる岩松の子どもたちの会として、「交通安全を語る会」への参加と、「スマホ・ケータイ安全教室」を開催したりした。また、地域のお祭りの際、巡回指導を行った。【生活指導部】
- ・ 年2回ベルマーク整理、給食試食会、卒業生に贈るコサージュ作りを行った。【家庭教育委員】

取り組みの効果

- ① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
— 具体的な効果 —

- ・ 五団体講演会への協力があまりできなかった。岩松小からの参加人数が少なく、もつと声掛けをするなどの方法があったと思う。【成人教育部】
- ・ 子どもから大人まで楽しく活動し、楽しく笑顔あふれる親睦会が行えた。【体育保健部】
- ・ 交通安全教室を通して、地域の方が身近な危険箇所を知り、交通安全に対する思いをより深めることができた。【生活指導部】
- ・ 給食試食会では、子どもたちが毎日食べている給食を実際に試食できるだけでなく、配膳係一人一人が自分の役割をしっかりとこなす様子を見ることができた。授業参観では見られない、子どもたちの新たな一面を見る良い機会になっていると思う。【家庭教育委員】

— 反省点 —

- ・ 五団体講演会では、興味をもってもらえるようなチラシ、ポスター作りを行ったり、周りの人たちへの声掛けをしたりして、参加してもらえるようにする。【成人教育部】
- ・ ここ3年間の回収量を比較してみたが、年々減少している。(地域のごみステーションの増加の影響もあるのかもしれない)【環境整備部】
- ・ 参加人数が増えるよう声掛けをしたかった。【体育保健部】

— 改善案 —

- ・ 保護者および地域の方々への回収協力の呼び掛けについての工夫を考えたい。【環境整備部】
- ・ スポーツ親睦会のことを多くの方々知ってもらえるように広報したり呼び掛けたりしていきたい。【体育保健部】

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 一条 義浩

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- P T A総会の運営 4/23
- かけこみ110番の家ウオークラリー (5/14)
- 運動会への協力 6/4
- インディアカ、ファミリーバドミントン (通年)
- 地区懇談会の運営 6/16
- 資源回収 (年3回)
- 県下一斉補導 (7/15、12/16)
- 親子奉仕作業 (7/3)
- 3校合同事業 (サイエンスプロジェクト) 10/23 (鷹岡小)
- 校内防犯パトロール (授業参観)
- P T Aバザー (11/26)
- 通学路点検 (通年)
- 校内夏季夜間パトロール
- 子育て研修会味噌づくり (10/24)
- 交通安全を語る会への参加
- 給食試食会 (11/10)
- コサージュ作り

取り組みの効果

1. 有
 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果 —

- かけこみ110番の家ウオークラリーでは、グループで地域を歩きながら、家の場所を確認したり、クイズを解いたり、子どもの防犯意識が高まった。
- インディアカ、ファミリーバドミントンは会員同士の親睦が深まった。
- 3校合同事業では鷹岡小が担当となり、参加者は科学の魅力を大いに体感した。
- 親子奉仕作業では、親子で汗を流しながらの作業で、普段子どもだけではできない場所がとてもきれいになり、子どもが毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。

— 反省点 —

- 毎年魅力あるテーマ設定で工夫をしてはいるが、地区懇談会の参加者が少ない。
- かけこみ110番の家ウオークラリーへの参加者を増やしたい。

— 改善案 —

- 地区懇談会を廃止し、総合防災訓練、地域の防災訓練への参加に移行する。先導、点呼等を各地区で部員が行う。
- かけこみ110番の家ウオークラリーを土曜日開催ではなく、学校行事の引き渡し訓練のあとに行うことで、参加率を上げる。帰り道、マップを手に親子で110番の家や危険箇所などの確認をする。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 田中 博道

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 「かけこみ110番のいえ」再検討
- 2 地域への恩返しの活動

取り組みの効果

1. (有)
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- 1 過去に受けていただいた方の中で、当時と家族構成の変化等により、継続不能なお宅が何件か判明。〈各町内会長に協力要請〉
- 2 日頃より子どもたちがお世話になっている諸団体の事業へ積極的に参加し、連携を深めた。

—反省点—

—改善案—

- 1 ・今後各町内P T A役員による確認を行う。各町内会長等との連携による確認を毎年実施する。(必要であれば地域内諸団体へも依頼)
・各家庭への周知方法の再検討。学校からの発信ではなく「P T A」からの発信であることを明確にする。
- 2 役員の中でも温度差があり、何故参画しているのか、参画する必要性を理解していただけるよう、対策を考える。次年度以降も引き続き取り組む。

平成 28 度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 伊藤 秀彦

平成 28 年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎今年度も昨年度と同様に「親子で楽しく、一緒に参加する P T A 活動」を目指し、親子で楽しめる活動を企画・運営をした。

○さくら祭や文化祭など、地域の行事への参加

丘地区のお祭りに参加したり、P T A 活動を P R するコーナーやお店を設けたりして、子どもたちだけでなく、地域の人々にも本校 P T A 活動の実践内容を伝えた。

○かけこみ 110 番ウォークラリー

地震を想定した避難訓練及び引き取り訓練後に、親子で通学路の危険箇所やかけこみ 110 番の家の確認をした。子どもたちにもいざという時は、「自分の身は自分で守る。」という意識をもって行動してほしいことを伝えた。

○親子奉仕作業

今年度は雨天のため、校内の美化活動に親子と教師が協力して取り組んだ。親が子どもに清掃の仕方やつななどを教える姿が多く見られ、とても良かった。また、普段は掃除ができない高い所なども、保護者に脚立を使って清掃していただいたので、校内がとてもきれいになったことも大変良かった。

○親子スポーツ教室 第 1 回「ドッジビー」 第 2 回「キンボール」

1 回目のドッジビー教室では子どもから大人まで 157 名の参加があり、体育館内に歓声が響いた。子どもたちに人気のあるスポーツだけに、昨年と比べて参加者の増加が見られ、良かった。子どもも大人もたくさん体を動かし、親子の会話も大いに盛り上がっていた。

2 回目のキンボールには、78 名の親子が参加した。ルールの説明を聞いて、親子と教師の混合チームで行われたリーグ戦も大変盛り上がり、活動後の感想も大好評だった。

○親子学習教室 「丘小サイエンス」

昨年に引き続き、葉脈取り、化石のレプリカ作り、空気砲、昆虫コーナー、ビニル袋での飛行機作りなどの体験コーナーでは、108 名の子どもと保護者が楽しく活動をした。教師も各コーナーで活動の補助を行い、子どもたちとの触れ合いが多く見られ、とても良かった。

○親子エコクッキング教室 「エコノミヤキを作ろう」

今年度も静岡ガスのエネリオさんの協力を得て、親子でエコノミヤキに挑戦した。料理に使用する材料のエコだけでなく、水道水のエコ、ガスを上手に使ったエコ、地産地消による運送面のガソリンエコ等、子どもたちにも家庭でできるエコについて学ぶことができた。今年度は 55 名の親子が参加し、本校の家庭科室を使用した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

○かけこみ 110 番ウォークラリー

- ・今年度も親子で通学路を一緒に歩くことで危険箇所を確認することができた。また、いざという時のかけこみ 110 番の家を確認することで、登下校時の安全についての関心が高まった。

○親子スポーツ教室、親子学習教室

- ・多くの親子が活動に参加し、アンケート結果による満足度も高かった。昨年度とは違うスポーツを取り入れたことも良かった。また、これから新しいスポーツにも挑戦していきたい。

○親子奉仕作業

- ・子どもたちの手では手の届かない所もとてもきれいになり、とても良かった。トイレも大変きれいになり、子どもたちも喜んでいた。

○親子エコクッキング教室

- ・今年度も外部講師に来ていただき、エコについて学ぶことができた。

－反省点－

- ・来年度も親子で楽しみながら運動したり、学習したりできる活動を継続していき、丘小のPTA活動を盛り上げていきたい。

－改善案－

- ・来年度も、更に高学年の子どもたちが多く参加できるような活動内容を検討し、実施していきたい。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士見台小学校 会長名 古田 竜也

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

○ 成人教育部による「親子LINE講座」

LINE（株）の方に来ていただき、授業参観で5、6年生向けの講座を行った。参観後は、保護者向けの講座を行った。

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・トラブルに発展する恐れがあることを、いろいろな事例を通して理解することができた。
- ・児童向けと保護者向けの講座があったので、分かりやすかった。

—反省点—

- ・保護者の参加が少なかった。

—改善案—

- ・4月のPTA総会や学校便りなどで、早い時期にPTA活動への参加を保護者に伝えていく。

平成28年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士南小学校 会長名 長久保 仁

平成28年度 重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行(年2回)、三校合同イベントの協力
- ・生活指導部 交通安全街頭指導(年4回)、1年生交通安全教室・4年生自転車教室の協力
- ・環境整備部 学校奉仕作業主催、古紙回収主催(年2回)、6年生親子奉仕作業主催
- ・体育保健部 運動会準備・当日の協力、三校合同球技大会開催、持久走大会協力
- ・母親研修部 給食試食会、P T Aバザー主催
- ・父親クラブ 奉仕作業協力、学校のかいだん主催
- ・その他活動 富士南小学校創立40周年記念事業準備委員会の開催(年2回)
P T A役員選出方法説明会、理事選出会、理事振分会の開催

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかー反省点ーに記入)

ー具体的な効果ー

- ・成人教育部 三校合同イベントは、前日の準備と当日の片付け等の協力を行いました。
- ・生活指導部 交通安全街頭指導、理事パトロール等問題なく終了できました。
- ・環境整備部 6年生親子奉仕作業では、多くの方に参加して頂き、隅々まで掃除をして、校舎内が大変きれいになりました。
- ・体育保健部 球技大会を通じて、三校の保護者・先生方と交流を深める事ができました。
- ・母親研修部 P T Aバザーでは、多くの保護者や地域の方も来てくれて、大盛況でした。
- ・父親クラブ 学校のかいだんでは、毎年の事ですが、多くの子ども達が参加してくれて、ものすごく楽しんでもらえました。
- ・その他活動 富士南小学校創立40周年記念事業準備委員会を年2回開催しました。
記念事業として、1. 全校児童へ記念品贈呈 2. 講演 3. 学校へ記念品贈呈の3本立てで行う予定です。29年度は実行委員会として進めて行き、創立40周年記念式典を行います。(時期は未定)

ー反省点ー

P T A理事選出会・理事振分会について

新4年生の保護者より、15名(5クラス×3名)の選出を行いますが、最初に会長補佐(次年度は会長になる)から決めていく事により、立候補者が減少してしまう。

ー改善案ー

会長補佐を理事役員選出から外す事も視野に入れて、会長補佐のみ全校より募る事も検討。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 前嶋 辰也

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

各部の定員数の見直しや活動の見直し。

- ・天間小学校の目玉である「コメ作り」の地域と学校との連携を確認する。
- ・人数が減少していく中での学校への協力体制をどうしていくか、各部との協力体制を確認する。

3校合同事業は、本年度は鷹岡小学校主催の「サイエンスショー」のサポートが行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

- ・役員定数の見直し

各部の活動を見直すことで、部員の定数を数人減らすことができた。

- ・地域との連携を取り、米作りなど多くの行事を学校・地域と協力して行えた。

—反省点—

役員選出や執行部の決め方がよく話し合えず、今年も結局「くじ引き」になってしまい、それでも上手くいかなかった。活動をもっと保護者に理解してもらい「やってもいいよ。」と言ってもらえるようなP T Aにしたい。

—改善案—

さらなる活動の見直しや、今まで各部が単体で行っていたことを他の部と協力して行う。

現在地区ごと出してもらっている役員をどのように選出するか。地区制でなく、学年ごとにするなどの方法も考えていく。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 笠井 俊幸

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

☆PTA 親と子のつどい～本校独自の PTA 活動

役員各部、岩松中 PTA、ジュニアリーダー、児童クラブ、6-4、特別支援学級が出店し、親と子の親睦を図った。4年生児童の合唱発表も行った。

【成人教育部】

- ・五団体教育講演会主催「テレビ寺小屋公開録画」 講師：田中ウルヴェ京先生
- ・年2回「会報いわもと」発行

【環境整備部】

- ・奉仕作業
- ・年3回古紙回収

【体育保健部】

- ・スポーツ親睦会「ドッジビー」
- ・運動会、チャレンジランニング大会への協力

【生活指導部】

- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・「地域が育てる岩松の子どもたちの会」協力
- ・校区パトロール
- ・かりがねまつり、実相寺お会式街頭指導

【母親研修部】

- ・PTA 給食試食会の実施

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ・「親と子のつどい」では、マスのつかみ取りやリース作りなどの体験型の店において、子どもたちと保護者が楽しく活動したり、模擬店で PTA 役員と教員が共に店の運営にあたりたりと、たくさんのふれあいと笑顔が生まれた。とても効果のあった行事であった。

【成人教育部】

- ・五団体教育講演会「テレビ寺小屋公開録画」では、岩松地区・岩松北地区の保護者・教職員、地域の方が 150 名あまり参加した。元オリンピック選手であり、メンタルトレーナーを務める田中ウルヴェ京先生を講師に迎え、「ストレスを健康に生かす方法」「パラリンピアンに学ぶ人間のすばらしさ」、などについて有意義な話を伺うことができた。
- ・PTA 広報誌「会報いわもと」において、各部で行われている PTA 活動の様子を伝

えた。PTA 行事になかなか参加できない家庭にも、活動の様子を伝えることができた。

【環境整備部】

- ・雨天のため、校舎外の植木の剪定・草取りはできなかったが、トイレ掃除をはじめ、階段の汚れ落とし、高い窓ふきなど、普段の子どもたちの清掃では行き届かない部分の清掃を行っていただくことができた。保護者・子ども・教職員が共に清掃し、学校がきれいになるありがたい作業だった。
- ・古紙回収では、古紙の駅が学区内の各地にでき、年々回収量が少なくなっているが、すべての地区で回収が行われ、収益を上げることができた。

【体育保健部】

- ・低学年の子供から大人まで一緒に楽しめる「ドッジビー」を実施した。珍プレー・好プレー、そして笑顔があふれるとても良い行事となった。普段忙しい保護者も、この時は我が子と共にさわやかな汗を流すことができた。

【生活指導部】

- ・子どもの安全のために、かけこみ 110 番の整備や校区内パトロール等を行ってくださった。今年度、交通事故に遭う子どももなく、安全に過ごすことができた。

【母親研修部】

- ・本校栄養士をから学校給食の話の聞いたり、子どもたちの給食の配膳の様子や食事の様子を参観したりした。実際に子どもと同じ給食を食べることで、学校給食に対する信頼が深まった。

☆夏季休業中には、PTA 三役・教職員を中心に、奉仕作業でできなかった樹木の剪定や草取りを行った。

－反省点－

- ・天候に左右される行事もあり、具体的な対策を具体的に計画する必要性を感じた。

－改善案－

- ・雨天時の計画を位置づける。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 金刺 哲弥

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

3年役選出について、従来の各ブロックよりの選出方法から、新3年生の保護者より選出を行う方法に会則の変更を行った。3年役選出時の立候補制を上手く活用し、各部のアピールをHP上で活動内容を知ることにより立候補者を募りやすくする。

取り組みの効果

1. (有)
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

実際選出時期にならない事には効果はまだわかりませんが、例年3年役選出の時期にいつも問題になることがありましたが、新3年生の保護者を対象とした選出を行うことにより公平な環境で行えるのではないかと考えます。

ー反省点ー

P T A経験のない中、会長という立場で各役員との意見交換がうまくできなかった。全体的なコミュニケーションが薄かったように感じた。

ー改善案ー

前向きに取り組み、良い雰囲気の中役員会を行うことにより各役員とコミュニケーションをとっていきたい。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名

青葉台小学校

会長名

望月 紀志

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

第一に、P T A役員組織を改編し、会長付の副会長、各専門部付の副会長を設け、専門部がより主体的に活動を企画、運営しやすい体制を整えた。専門部付の副会長には、前年度専門部長を務めた役員が就任し、本年度部長のオブザーバー的な役割を果たすことで、部長をサポートする体制を強化した。

第二に、これまでの事業を見直し、参加人数が振るわなかった事業について、思い切って内容の変更を試みた。特に体育保健部の親子レクリエーションについては、毎年内容の決定も悩んでいたため、他校の取組を参考に、夜の学校内を探検する「親子でナイトウォーク」を実施した。

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

前年度部長が専門部のオブザーバーとして残る体制は以前からあったが、副部長として在籍するよりも、副会長として、より責任あるポジションからアドバイスを行うことで、会長の意向がよりスムーズに各部へ浸透するとともに、気負いなく事業を展開する自信につながった。前年度の反省点を生かして事業を展開することもできていた。

「親子でナイトウォーク」は、中学校区内の連携で以前から交流の深い今泉小P T Aの活動を参考に取組んだ。これまで、青葉台小、今泉小、吉原二中の3校合同での事業に取り組んできた交流が生かされた事業でもある。P T A同士のつながりが、新しい事業へのチャレンジを広げるとともに、予想以上の参加者が集まり、会を企画した役員にも手応えを感じる事業となった。今後は、青葉台小独自の工夫を凝らしていくために、より楽しい事業に工夫する前向きな課題も効果があったと感じている。

なお、平成27年度から新規事業として活動し始めた「親子で楽しむみそづくり教室」も、好評のうちに終了することができた。「手づくりのみそは本当においしい！」というリピーターも増えているので、活動を軌道に乗せていきたい。

－反省点－

他校の事業を参考に新たな事業を展開しているのに、「青葉台小ならではの」の事業に工夫を凝らしていくことが課題である。また、来年度開校20周年を迎える青葉台小は、周年記念事業を予定しているので、P T Aとしてどのようなかかわりをもつことができるか模索している。小学校開校と同時にできた地区なので、地区の人々と共に20周年を祝うことができる事業を展開できるように、今後も協議を進めたい。

－改善案－

「親子で楽しむみそづくり教室」については、衛生面への配慮から、来年度は家庭科室にて実施するように変更する。また、青葉台地区20周年を記念して、各専門部での事業を、20周年にちなんだ活動に絡めるように、内容の工夫を検討する。さらに、「親子でナイトウォーク」については、ハロウィンと絡めた活動に発展できるように、内容を工夫する。

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校 会長名 三浦隆慎

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

・ふれあいフェスタ

地域を巻き込んで、全校児童・保護者・地域が一同に会しての行事である。

内容は、体育館内での有志・クラブ・部活動の発表の場や文化的なプレゼン。そしてバザーが行われた。本年度は富士川第一中学校 PTA も参加した。中学校の制服や体操服・ジャージ等のバザーで出店してもらい、とても好評であった。

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

各部単独の活動ではなく、本校 PTA 全体の活動であったため、多数の参加者があった。さらに地域や中学校との連携もあり、有意義な活動となった。また、各部の部長や副部長らが協力しあうことで、役員同士のつながりが強まった。この場をきっかけに次年度の役員の橋渡しの場となった。

－反省点－

当日の天候で左右する内容なので、雨天時の対応がしっかりとしていないとばたばたと混乱してしまう。

電源の確保や人の流れの滞りなどの反省点があった。バザーが終わってしまうと人が閑散としてしまい内容の時間帯も考慮する必要を感じた。

－改善案－

上記のとおり

平成28年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 石井 裕之

平成28年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 親子自転車教室
- ② 「かけこみ110番の家」の登録依頼
- ③ 通学路点検・自転車点検
- ④ 親子科学遊び(富士川二中 PTA の協力)
- ⑤ 普通救命救急講習会・プール開放の監視協力
- ⑥ 登校時における交通指導
- ⑦ 奉仕活動(草取り・高所窓拭き・ペンキ塗り等)

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

- ① 主に低学年に交通ルールを周知できた
- ② 地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた
- ③ 通学路の危険箇所を地図上にプロットし、確認・情報共有ができた
- ④ 二中 PTA と協力し、親子で科学の不思議を体験した
- ⑤ 奉仕活動により、児童達の手の届かない部分の整備・補修ができた

—反省点—

- ・保護者同士の繋がりを増やしたい。「居場所」が見付けられるサポートを PTA 活動通じて切っ掛けになれば良いが、難儀。
- ・科学遊びのような、児童達の好奇心を煽るようなイベントを増やしたい
- ・不審者情報もあったことから、かけこみ110番の家を確認するイベントを実行したかったが、雨天中止になった(2年連続)。

—改善案—

- ・
- ・各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、その振返りの内容をデータで残し、今後の活動につなげられるようにしたい。